

野村 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.74

◆9月議会

■2013年度決算の課題

・新川防災公園・多機能複合施設、事業費先送り

工事計画変更で20.9億円の決算。4.2億を翌年度へ繰延べ。結果13年度の借金は18.9億。今後3年間で残りの130億以上を支出。うち88億が借金となる予定。加えて割賦償還制度利用で、17年度以降支払い予定の未払経費が7.5億残る。

・将来の負担増加の可能性大

借金は特別会計あわせ41.6億。公債費（借金返済額）は53億で、返す方が多くなり、借金残高は541億と昨年並に抑えられ、一見良好な決算状況。

しかし、翌年度以降支払う予定の**債務負担行為は、224.6億**。市債償還計画によれば5年後の公債費は、現状の2倍以上の100億を超える。

市税収入は今後増加は見込めない。**財政力指数は1.025**。収入と必要経費がほぼイコールで余裕がない。その中で、小中学校やコミセンの大規模改修、保育園やボランティアセンターの建替え、水害対策等と更新事業が続く。今は帳尻合わせができていても、どうやりくりし続けられるのか。保育料、国民健康保険税等、**今後の市民負担増**を懸念。

■市長提出議案

1) **補正予算**; 本庁舎証明のLED化、地域型保育施設の開設支援、農地台帳システム整備、降雷農作物被害見舞金、牟礼3・4・13号道路用地取得。市税収入15億の増加分をまちづくり基金に積立。合計16.2億の増額補正。全員賛成で可決。

2) **土地売払い**; 市民保養所箱根みたか荘を、ヤフー・オークションを活用して売却。予定価格の約2倍、2.4億で落札。源泉とロケーションの良さが評価。適正な売却に賛成。22:4で可決。



■一般質問

1 市民の視点に立ったまちづくりについて

(1) **男女平等施策推進**について、平等参画指標の評価を、何を何回実施したかではなく、誰にどのような効果があったかの「アウトカム評価」をすべきとして、女性交流室の利用率の意味を質すが、認識度を図ると不十分な答弁。

・**女性管理職比率**は22.7%だが、保育園などを除いた事務系に絞ると13%。昇任昇格試験にこだわる答弁だが、育休で受験資格の経験年数がずれる点などの不利益扱いには言及せず。今後の運用をしっかりと見ていく必要がある。

(2) 「**教育**に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」の**評価のあり方**については、アウトカム評価がわかりやすいよう今後工夫すると教育長答弁。数値目標の競争ではない内容を問う評価が必要。

(3) **地域包括ケアシステム**について、地域包括支援センターが総合相談窓口であるが、**市が責任**を持って支援体制を構築すると答弁。

多職種連携による切れ目のない支援体制構築について、地域の資源を活用し、体制構築を図る。**高齢者支援室がバックアップ**するととれる答弁。地域包括支援センター等に丸投げされていた状態が改善されるか、注視していく。

■議員提案意見書・決議

★「**性差別や人権侵害等のない、女性が安心して参画できる議会にすることを求める**」決議を、野村提案。共同提案に長島薫、大城美幸議員。にじ・民主・共産・みんなの党賛成、自民・公明反対で12:15、残念ながら**否決**。

★にじ提案「**外国籍住民を含める生活保護法改正**」意見書は11:16で**否決**。民主が反対!?



■厚生委員会

1)「子ども子育て事業運営・設備基準条例改正」

保育の必要の認定についての内閣府令を追加。重複することになる市の保育実施条例とその施行規則を廃止。基準の整合性と手続き等の規則整備等を質疑で確認。リンクではなく条文にすべきと討論して賛成。全員賛成で可決

2)「私学保護者への助成等を求める」請願。行政の補足説明のみ。残念ながら請願代表者の補足説明はなし。継続審議を主張するも認められず、議会最終日に改めて採決。調査するも、請願項目変更の説得力なく討論して反対。賛成多数で可決。

3)行政報告は、「子ども子育て支援事業計画」「新型インフル等対策計画」「避難行動要支援者名簿作成」「臨時福祉給付金 子育て世帯臨時特例給付金支給事業」などについて。

■信州で平和を思う～松代いっしょツアー

8/30～31は、戦争の時に何が起っていたのかを学びたいと企画されたいっしょの会のツアー。

1944年11月～45年8月にかけて工事が行われた「松代大本営」。「松代もうひとつの歴史館」で説明を伺い、「象山地下壕」を歩く。トンネル内で何人が何日間暮らすつもりだったのか、非現実的な計画だと実感。舞鶴山の元天皇御座所（現気象庁地震観測所）では、周辺住民の強制立ち退きもあったという。戦争末期にもかかわらず、国体護持と地下壕を作り続けた軍部の思考停止状態、機に乗じた土木会社、そして苦役させられた庶民の姿などに思いをはせた。

戦没者画学生慰霊美術館無言館・信濃デッサン館では、戦地に赴いても絵を描き続けた人々、若くしてその命と才能を絶たれなければならなかった理不尽さ。人がその人らしく生きる、その

ためにも平和が必要だと改めて感じた。無言館を作り、戦没した若者の作品を収集し続けた情熱にも感謝。



■東京外環道路特別委員会

地中拡幅部都市計画変更素案について、環境アセスでは問題なしとする点について質すが、答弁できず。委員会に国交省担当者を招聘してほしい旨委員長に要望する。



■地中拡幅部地域地権者対象説明会(国交省外環国道事務所主催)計4カ所を傍聴。地権者の方々には地盤沈下と家屋被害を心配。国交省の答弁は必ずしも納得できるものではない。

■大深度地下使用認可に対する異議申立(行政不服審査法)、提出した1014名全員に補正命令が送付。外環ネットの呼びかけで補正書提出は約700名。異議申立集会開催予定。

■生活保護問題議員研修会in金沢(8/22～23)

生活保護法改正、保護基準引下げの問題について学ぶ。生活困窮者自立支援法について厚労省の担当者からのレクチャーも参考になった。

格差が拡大していく中、貧困を人権問題として捉え、自己責任による自立ではなく、支えあいによる人としての暮らしを支援する制度の再構築が必要だと改めて思う。

研修会の前後時間で、金沢21世紀美術館と、金沢市立玉川図書館・玉川子ども図書館を見学。金沢の文化の高さに触れるひとときだった。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.7 4
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail : issyonokai@nomura-yoko.net
Url : http://www.nomura-yoko.net
Twitter : https://twitter.com/#!/hitujinomura



★10/25pm13:30～「トークバック」上映会
&トークセッション@さんざん館 前売1000円

